**第１号議案　2022年度事業報告**

**はじめに**

　2022年度の総括にあたり、今年度も新型コロナウイルス感染症コロナに翻弄された一年であったという一言に尽きる。会員それぞれのが所属機関での個別対応、機関の責務、個人として家庭や地域での役割や緊急事態もあった中での協会活動なので、一様に苦労があったと理解している。

　一方で、コロナの影響を受けつつも、活動自体は停滞させずに、オンラインの活用や状況に応じて対面での活動も併用する、いわゆるハイブリッド開催の研修や会議も定着しつつある。コロナへの対応だけでなく、子育て中の会員、吹雪などの悪天候なども含めて、広域な北海道での新たな活動の形態としても可能性を感じる一年であった。

世界的に広がっている閉塞感のなか、北海道内では、障害者施設における虐待問題、強制不妊施術の問題が全国的にも大きな課題としてクローズアップされた。日常的に障害当事者や家族などとかかわることの多い私たちにとって、大きなテーマとして突き付けられたものである。理事会でもテーマとして取り上げ、会員との継続的なテーマとしていくことも確認された。身近な課題として、善悪だけではなく、自分事としてどのように考え、理事間はもちろん、会員相互、身近にいる当事者や家族、多職種などとも話し合うプロセスの共有が求められると考える。

　ジャーナルにおいて、他団体との協働を特集し、当協会の会員がどのような活動にどのように参画しているかを知る機会となったことは、私たち会員にとって大きな刺激になった。また、協会だよりでは、社会活動・研究部が中心となり、精神保健福祉や関連する領域のトピックスを記事にして発信し続けていることは、有意義であり、学ぶ機会になっている。広報出版部を中心に、Facebookの活用や協会だよりの電子版発行を継続していることで、今後の協会活動の可能性も見られている。

　これらの従来の活動に加えて、以下の2点は、今年度の活動の特徴と考えられる。

1. 新たな取り組みと可能性

資格・実習部が中心となり、スーパービジョン研修を共同開催し、その成果を振り返ったことや認定スーパーバイザーとの意見交換を行ったことは、とても重要なことである。対人援助職である精神保健福祉士が、研修のみならず、スーパービジョンを活用することで、ソーシャルワーカーとして成長し、支援の幅が広げることができる。北海道協会として長年の懸案であった、スーパービジョンへの取り組みに着手したことは大きな一歩と考えられる。

1. さらなる展開が期待される動き

札幌三ブロックが、従来の研修中心の活動から、会員相互のニーズ把握や三ブロック相互の意見交換に着手し、新たな活動を展開しようとする兆しが見られたことが挙げられる。北海道の半数以上の会員が札幌三ブロックに集中していることから、ここでの活動の活性化は、北海道全体の活性化につながると考えられ、今後も期待される。

また、道東ブロックが企画している全道大会も、久しぶりの対面開催とオンライン開催を併用した、ハイブリッド開催になることから、多くの会員の参加が期待できる。新型コロナウイルスの影響により活動が制限されただけではなく、新たな取り組みにより、広域な北海道の活動の新たな可能性が広がっている。

1. 会員から理事会への提案事項

例年よりも会員から理事会への意見提出、疑問の投げかけがあった。そのことを基に理事会での議論、会員との意見交換の必要性を再確認した。ブロックが機能していることの表れでもあり、今後も会員間の意見交換の機会を模索する必要も実感している。

　以上、今年度総括したが、詳細については、各部・ブロックから報告がある。この一年、多くの会員が何らかの形で協会活動にかかわってくれたことに感謝するとともに、今後も継続した活動への参画をお願いしたい。

**Ⅰ　各部の事業報告**

**１　事務局**

2022年度は、事務局員１名の退職により３名の局員体制となったが、週4日１日３時間事務所に配置し、会員及び会員外からの問い合わせや当協会が開催する研修会等の受付、他団体からの依頼や要請等の窓口として、四役はじめ担当理事と連絡調整を行いながら対応した。

また、各部、各ブロックとの連携に努め、各種会議のオンラインによる開催に対応できるよう、必要な機材及び会場の準備等を行った。

【協力員】（敬称略）

　神原　巧（相談室こすもす）

１）会議の運営

　①理事会運営規程に基づき、通常理事会を７回開催した。（全てオンライン併用による開催。）

②四役会を６回開催した。（全てオンライン併用による開催。）

　③事務局会議を３回開催した。（全てオンライン開催。）

２）会員動向の把握と会員名簿作成

　①本年度は、新入会者20名、退会者42名であり、会員数533名（正会員529名、賛助会員４名）となった。（2023年３月31日現在）

　②本年度も会員名簿を作成し、「協会だよりＮＯ.２」（９月号）に同封して発送した。

３）会員及び会員外からの問い合わせへの対応

　協会活動や諸手続きなど、当協会に関する会員及び会員外からの問い合わせの窓口を担い対応した。

４）行政機関及び関係諸機関への協力

　北海道や札幌市をはじめとする行政機関、北海道社会福祉協議会や北海道社会福祉士会などの関係諸機関（団体）からの委員等の派遣や大会・学会等の後援依頼があり、連絡調整の窓口として対応した。（「Ⅳ　他団体との関係」を参照）

５）各種研修会・委員会の開催準備及び協力

　①「苦情対応・処理員委員会」開催の調整及び準備を行った。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、書面による報告及び意見交換を実施した。

　②各種研修会の参加申し込み窓口を担い、参加者名簿作成等の協力を行った。

**２　財務部**

会費請求業務については、年度当初に会費請求を封書発送にて行い期限内納入の呼びかけをした。期限内に納入されなかった会員について書面による督促を10月・２月と２回行なったが、年度末納入率は下記の結果となった。

財務管理・会計処理業務については、会計処理に関する規程に基づき、事務局員１名を会計事務担当者として配置。会計顧問の助言を受けながら、適正な会計処理を行うことができた。

また、財政状況を把握するため10月には理事会にて中間報告も実施している。

**＜会費納入状況＞**

年度末納入率：97％（2023年３月31日現在）

**３　教育・研修部**

2022年度においても、新型コロナウイルス感染症の流行状況を勘案しつつ、入会から原則３年以内の会員を対象とした指定研修である『入会時指定研修Ⅰ』『入会時指定研修Ⅱ』、会員ならびに精神保健福祉領域関係者等を対象とした『専門研修』、日本協会から開催委託を受けた生涯研修制度『基幹研修Ⅱ』、の計４つの研修を開催した。

　『入会時指定研修Ⅰ』については、会場とZoomを利用したオンラインでのハイブリット形式とし、例年と同じく日本協会生涯研修制度の『基幹研修Ⅰ』と相互読み替え可能な研修として開催した。両協会の役割と課題、精神保健福祉士としての専門性、精神保健福祉士の現場での実践について座学と演習で学ぶ内容とした。

『入会時指定研修Ⅱ』については、会場とZoomを利用したオンラインでのハイブリット形式とし、『入会時指定研修Ⅰ』を修了した会員を主な受講対象として、当事者を講師に招いて生の声を直接聞かせていただきながら、日々の実践を振り返り、実践と理論との結びつけを行う内容とした。

『専門研修』については、昨年度の専門研修において、長期入院を経た上で現在は地域で生活されている当事者の方、そしてその方を実際に支援した方々に御登壇頂き、当事者から見えた私たち精神保健福祉士の支援や、多様な人生に伴走した支援とは何なのか、周囲とはどのような連携が求められているのかを省察したことを踏まえ、今年度は「ソーシャルワーカーの物語を紡ごう～支援を通して当事者とかかわり、生活者として共に高めあう～」をテーマとした。講師に佐々木敏明先生（元 北海道医療大学看護福祉学部客員教授）をお招きし、先生のご経験から見える当事者とわれわれ精神保健福祉士の関係性や拠り所、支援者としての在り方・視点等について御講演頂き、私たち精神保健福祉士の実践や今後について改めて省察し、語り合う機会とした。

『基幹研修Ⅱ』については、日本協会より委託を受け隔年で北海道・東北ブロックの日本協会構成員を対象に開催しているものであるが、一昨年度・昨年度は日本協会全国大会の北海道開催に向けた準備等により、本研修の委託を見合わせたため、2018年度以来4年度ぶりの委託開催となった。

【協力員】

出田　亜弥佳（札幌佐藤病院）

伊林　拓哉（林下病院）

　黒田　健介（さっぽろ香雪病院）

　元井　昭紀（南空知地域生活支援センターりら）

　山村　哲（なるかわ病院）

１）研修実施状況報告

別添「2022年度　教育・研修部　研修実施状況報告」を参照のこと。

２）部会及びその他打合せ

・第１回部会　2022年４月８日

・弟２回部会兼入会時指定研修Ⅱ講師打合せ　2022年６月23日

・第３回部会　2022年７月26日

・第４回部会兼専門研修講師打合せ　2022年８月17日

・第５回部会兼専門研修講師打合せ　2022年９月６日

・第６回部会　2022年９月29日

・第７回部会　2023年１月26日

・基幹研修Ⅱ講師打合せ①　2023年２月15日

・基幹研修Ⅱ講師打合せ②　2023年２月16日

・基幹研修Ⅱファシリテーター打合せ①　2022年２月21日

・基幹研修Ⅱファシリテーター打合せ②　2022年２月24日

・第８回部会　2023年３月９日

**４**　**社会活動・研究部**

精神保健福祉に関する情報発信については、昨年同様、精神保健福祉領域の動向やトピックスなどに注視し、精神保健福祉士の知見を深めるために必要と考えるテーマを選定し、協会だよりに掲載した。

また、2021年度から具体的な計画を立てていた北海道内の精神障害者当事者団体や家族会等に対するインタビューについては、５団体に対して実施し、そのうちの４団体のインタビューを協会だよりに掲載した。

災害対策委員会との連携については、部長及び理事が「災害対策委員懇談会」に出席しているほか、部会

や理事会をとおし、協力員（災害対策委員会担当理事）と必要な情報を共有していた。

【協力員】（以下、敬省略）

石崎　香（小原病院）

小野　美南子（函館渡辺病院）

小畑　友希（ひかり工房）

佐久間　香菜子（手稲病院）

高田　歩（市立釧路総合病院）

橘　　武蔵（旭川圭泉会病院）　＊災害対策委員会担当理事

津田　俊彦（多機能型事業所　稲田館）　＊災害対策委員会担当理事

１）精神保健福祉に関する情報発信

厚生労働省などの行政機関やその他関係機関及び団体等の文献、資料、ホームページなどから必要な情

　報を収集するとともに、理事や協力員が輪番で原稿を執筆し、協会だよりをとおし、会員に向けた情報を

発信した。

　なお、2022年度は以下のテーマを選定し、協会だよりに掲載している。

　　ＮＯ.１　「8050問題」が抱えるもの（石崎　香）

ＮＯ.２　北海道初の医療観察法指定入院医療機関を迎えて（佐久間　香菜子）

ＮＯ.３　国連・障害者の権利に関する条約に基づく対日審査から学ぶこと（河﨑　康代）

ＮＯ.４　精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）の一部改正について（橘

武蔵）

２）精神障害者当事者団体及び家族会等に対するインタビュー

　　精神障害者当事者団体や家族会等の代表等に対し、同団体の現状、課題、精神保健福祉士に求めることなどについて、インタビューを実施し、会員への理解を深めていただくことを目的に協会だよりに掲載した。

インタビューを通じ、函館市内で活動している『精神に障がいのあるひとの配偶者・パートナーの支援を考える会＠はこだて』の代表から、函館市内の多くのメンタルクリニックには精神保健福祉士が配置されておらず、身近に相談できる支援者がいないため、当協会道南ブロックが中心となり、相談を求めている当時者及びその家族に向けて、公的機関などで定期的な相談会を開催してほしい旨の要望を受けた。その後、同要望を同ブロックの会員と共有するとともに、実現できるよう働きかけを行った。

2022年度は、当事者団体へのインタビューが少なかったことから、次年度以降はその数を増やし、関与を深めるとともに、求めや必要性に応じて支援活動を展開する。

　　なお、以下の家族会等に対するインタビューを協会だよりに掲載した。

ＮＯ.１　一般社団法人北海道精神障害者家族連合会

ＮＯ.２　特定非営利活動法人札幌市精神障害者家族連合会

ＮＯ.３　精神に障がいのあるひとの配偶者・パートナーの支援を考える会＠はこだて

ＮＯ.４　さっぽろきょうだい会

３）災害対策委員会との連携

２名の協力員が災害対策委員会担当理事であり、必要な情報共有を行った。また、同委員会が主催している「災害対策委員懇談会」にも出席した。

【部会の開催】

　　　第１回）日　程：2022年５月16日（月）オンライン

参加者：石崎　香、小畑　友希、河﨑　康代、橘　武蔵、藤井　雅幸

内　容：今年度の社会活動・研究部の体制について、今年度の協会だよりの原稿について等

第２回）日　程：2022年８月１日（月）オンライン

参加者：小野　美南子、小畑　友希、河﨑　康代、佐久間　香菜子、津田　俊彦、藤井　雅幸

内　容：協力員の確保、次回の協会だよりの原稿について、精神障害者当事者団体・家族会等に対するインタビューについて等

第３回）日　程：2022年10月４日（火）オンライン

参加者：小野　美南子、小畑　友希、河﨑　康代、藤井　雅幸

内　容：協力員の確保、次回の協会だよりの原稿について、精神障害者当事者団体・家族会等に対するインタビューについて等

第４回）日　程：2022年12月９日（金）オンライン

　　　　　　参加者：小畑　友希、河﨑　康代、藤井　雅幸

　　　　　　内　容：次年度の理事等の改選について、協力員の確保、次回の協会だよりについて、精神

　　　　　　　　　　障害者当事者団体・家族会等に対するインタビューについて、次年度の事業方針等

**５　広報・出版部**

広報誌『協会だより』『ジャーナル』の発行及び、ホームページ・Facebookの管理を中心に業務を行った。

1. 協会だより

昨年に引き続き、電子版の発行について検討を継続し、年４回発行する協会だよりのうち、12月発行分１回分を電子版とあわせて発行を行った。電子版はホームページにて掲載を行った。昨年度、12月発行分が電子版のみの発行となったことについて、会員より戸惑いの声をいただいたことを踏まえ、今年度は電子版のみではなく、紙媒体での発行も併せて行った。次年度も継続し、年４回紙媒体での発行と、12月発行号に関しては電子版も同時に発行することとし、発行媒体については、引き続き検討を行っていくこととしている。

　12月発行協会だよりの巻頭言の内容について、会員よりご意見をいただいた経過がある。ご意見を踏まえ、今後も引き続き文書表現には留意し作成することを理事会でも確認した。その上で、協会からの発行物については、理事会としてチェック体制を強化し取り組むことを共有した。

２）ジャーナル

　ジャーナル　vol.60を発行した。内容を二部構成とし『第一部　他団体派遣活動報告集』では当協会から派遣・推薦を行い他団体会議等にて活動する会員に活動報告をまとめていただいた。『第二部　ブロック座談会』では各ブロック長やブロック代表にオンライン座談会に参加していただき、ブロックの特徴や展望と課題等について語られた内容をまとめ掲載した。印刷・製本を終え、３月発行協会だよりと一緒に、全会員へお届けしている。

３）ホームページ・Facebook

ホームページでは、求人情報、研修情報、議事録等を中心に随時情報を更新した。また、Facebookでも、協会に関する活動や研修情報等、随時発信をしていった。

４）出版物の発行状況

①協会だより　第１号発行　（2022年６月30日）

②協会だより　第２号発行　（2022年９月30日）

③協会だより　第３号発行　（2022年12月25日）※電子版と併せて発行

④協会だより　第４号・ジャーナルvol.60　発行　（2023年３月15日）

５）部会等打ち合わせ

・部会

1. 日　時：2022年５月18日　19時～20時半

方　法：オンライン

内　容：広報・出版部の活動についての協議及び役割分担の打ち合わせ等

参加者：井上、出田、高谷

1. 日　時：2022年８月５日　19時半～20時半

方　法：オンライン

内　容：広報・出版部の活動についての協議及び役割分担の打ち合わせ等

参加者：井上、出田、高谷

1. 日　時：2022年10月25日　19時～20時半

方　法：オンライン

　 内　容：広報・出版部の活動についての協議及び役割分担の打ち合わせ等

　 参加者：出田、井上、高谷、佐久間、神野

４.日　時：2023年１月22日　11時～12時

　 場　所：りたるコーヒー（札幌市中央区北３条西26丁目）

　 内　容：会計打合せ

　 参加者：井上、高谷

・ジャーナル座談会収録

1. 日　時：2023年12月19日　19時半〜20時半

方　法：オンライン

参加者：竹内、神代、佐久間、角、加藤、佐久間、出田、高谷、井上

1. 2023年12月21日　19時半〜20時半

方　法：オンライン

参加者：竹内、神代、幡、服部、越野、出田、佐久間、神野

【役員・協力員体制】

　広報・出版部部長：井上　希実（就労移行支援事業所　コンポステラ）

　広報・出版部理事：出田　亜弥佳（札幌佐藤病院）

　協力員（50音順）：神野　唯史（さっぽろ地域生活支援センター）

佐久間　裕（函館渡辺病院）

高谷　澄恵（石金病院）

**６　資格・実習部**

2022年度は北海道ソーシャルワーク教育学校連盟北海道ブロック（以下ソ教連）と共催の『精神保健福祉援助実習指導者フォローアップ研修会』を対面で開催することができた。『精神保健福祉援助実習指導の手引き』更新についてもソ教連と検討を行いながら進めていくことができた。

また、北海道精神保健福祉士協会のスーパービジョン体制について認定スーパーバイザーから意見を伺うことができ、各部・各ブロックと協力し検討していくことができた。

例年開催されている北海道・北海道社会福祉協議会北海道福祉人材センター主催の「福祉職場説明会」への相談員派遣や、日本ソーシャルワーク教育学校連盟北海道ブロック主催の会議に参加し、各種関係団体とさらなる連携の強化を行った。

役員体制

資格・実習部理事　鶴羽　康弘（あしりべつ病院）

　　　　　　　　　松浦　智和（日本医療大学）

　　　　　協力員　一戸　真由美（石狩市教育委員会）

　　　　　　　　　福澤　健一（千歳地域生活支援センター）

　　　　　　　　　酒井　幸樹（札幌鈴木病院）

三澤　あゆみ（中垣病院）

事業報告

１）精神保健福祉援助実習指導者フォローアップ研修

開催日程：2023年1月28日（土）　13:00～16:00

テーマ：「実習評価表と実習評価」

講　師：大島　康雄　氏（星槎道都大学社会福祉学部准教授）

参加者：16名

２）資格・実習部会

第１回部会（オンライン）

日時：2022年5月20日（金）　19：00～21:00

出席者：鶴羽、福澤、一戸、三澤、酒井

第２回部会（オンライン）

日時：2022年6月29日（木）　19：00～21:00

出席者：橋本、松浦、鶴羽、福澤、一戸、三澤、酒井

第３回部会（オンライン）

日時：2022年7月19日（金） 19：00～21:00

出席者：橋本、松浦、鶴羽、三澤、酒井

第４回部会（オンライン）

日時:2022年8月18日（木）19：00～20：00

出席者：橋本、松浦、鶴羽、一戸、三澤

第５回部会（オンライン）

日時：2022年9月20日（火）19：00～21：00

出席者：橋本、松浦、鶴羽、一戸、三澤、酒井

第６回部会（エルプラザ）

日時：2022年10月18日（火）19：00～21：00

出席者：橋本、松浦、鶴羽、一戸、酒井

第７回部会（オンライン）

日時：2022年12月12日（月）18：30～20：00

出席者：橋本、出田、松浦、鶴羽、一戸、三澤、酒井

３）実習指導者フォローアップ研修打合せ（すべてオンライン）

第１回 2022年9月6日（火）18:10～19:30　松浦、鶴羽

第２回 2022年10月4日（火）18:10～19:30　鶴羽

第３回 2022年12月6日（火）18:00～19:30　松浦、鶴羽

第４回 2023年１月23日（月）18:30～20:00　松浦、鶴羽

４）認定スーパーバイザーとの話し合い

日時：2022年12月7日（水）18：30～20

出席者：今井、佐藤、橋本、松浦、鶴羽、一戸、酒井

５）その他(他団体主催の会議等への参加)

（１）2022年度北海道医療大学社会福祉実習協力施設・機関会議　2023年3月9日　鶴羽理事出席

（２）2022年度福祉職場就職説明会①　2022年10月2日　鶴羽理事出席

　　　　　　　　　　　　　　　　②　2022年11月3日　鶴羽理事出席

　　　2023年度福祉のしごと就職フェア　2023年3月5日　酒井協力員出席

（３）日本ソーシャルワーク教育学校連盟北海道ブロック総会 2022年度総会

①2022年5年23日（月）　松浦理事、鶴羽理事出席

　②2022年12月11日（日）　松浦理事、鶴羽理事出席

**Ⅱ　各委員会報告**

**１　苦情対応・処理委員会**

本年度は会員に対する苦情が１件寄せられ、事務局で聞き取りを行い申し立ての手続きについて知らせたが、苦情申し立てには至らず、委員会として扱う苦情等はなかった。委員会開催については、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策から委員の招集はせず、メーリングリスト上で役員体制等の協議や情報交換を行った。

【委員体制】

橋本菊次郎氏（北海道医療大学・委員長）、野口恵子氏（北海道介護福祉士会会長・副委員長）、三浦一郎　氏（北海道メンタルケアセンター・副委員長）、伊藤光治氏（にし社会福祉士事務所）、安藤ひとみ氏（ときわ病院）、鈴木奏会氏（林病院）、永野拓己氏（合同会社リノケア　ココスタディ）、川口裕太氏（函館渡辺病院）、神内秀之介氏（北海道社会福祉士会）、塩澤まどか（三浦メンタルクリニック・事務局）

**２　地域相談支援委員会**

2022年度における当委員会は、道協会教育・研修部との協同による研修会の企画・運営と道協会が発行する機関誌を通じた情報発信を行った。

2021年度に道協会教育・研修部と協同企画した専門研修において、精神科病院での長期入院を経て地域生活を送る精神障がい当事者と当該者の地域移行支援に従事した精神保健福祉士が登壇し、精神障がい当事者の視点による精神保健福祉士の支援のあり方、精神保健福祉士が求められる関係機関等との連携のあり方などを省察した。左記の研修を踏まえ、2022年度においては、精神障がい当事者と精神保健福祉士の関係性や精神保健福祉士としての拠り所、精神保健福祉士として立脚する専門的視点等について再考し、精神保健福祉士の実践や精神保健福祉士して目指すべき方向性に関する意見交換をプラグラムとした研修会を道協会教育・研修部と協同企画・運営した。

情報発信については、地域相談支援委員会の活動紹介に加え、道協会教育・研修部と2021年度及び2022年度に企画・運営した専門研修に対し、2021年度に登壇した精神障がい当事者と同研修会を振り返ったインタビュー内容や精神保健福祉士への期待や要望をまとめ、機関紙を通じた情報発信を行った。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染予防対策として、オンラインシステム（zoom）を積極的に活用することで、各委員の安全を保障した非接触での会議を開催することできた。

１）委員会体制

委員長：元井　昭紀（南空知地域生活支援センターりら）

委　員：佐々木　寛（一般社団法人ソーシャルカフェ）、角　幸樹（北の大地）、

北條　智幸（登別市総合相談支援センターen）、安田　亜子（しりべし圏域総合支援センター）、吉田　今日子（函館地域生活支援センター）、池田　侑子（自宅）

２）会議開催

2022年04月13日　オンライン（zoom）会議（委員会会議）

2022年08月17日　オンライン（zoom）会議（委員会会議）

2022年09月06日　オンライン（zoom）会議（委員会会議）

2022年10月23日　オンライン（zoom）専門研修運営（教育・研修部協同企画）

2022年11月04日　オンライン（zoom）会議（委員会会議）

2022年12月22日　オンライン（zoom）会議（委員会会議）

３）普及啓発活動事業

1. 委員会活動開始から約8年間が経過した当委員会について、改めて当委員会の設置目的や「情報発信・普及啓発」「人材育成」を中心とする活動内容の紹介をまとめ、協会だより（No.1　2022.6）を通じて情報発信を行った。
2. 教育・研修部との協同企画・運営をした2021年度及び2022年度の専門研修を、2021年度に専門研修で登壇した精神障がい当事者にインタビューを通じて振り返り、登壇者が期待する精神保健福祉士への期待や支援のあり方等をまとめ、協会だより（No.3　2022.12）を通じて情報発信を行った。

４）地域移行支援に係る人材育成

精神障がい当事者との協同の重要性、精神保健福祉士としての支援や連携のあり方などを再考する機会として、佐々木敏明氏（元 北海道医療大学看護福祉学部客員教授）を講師に招き、「ソーシャルワーカーの物語を紡ごう～支援を通して当事者とかかわり、生活者として共に高めあう～」をテーマに、講師による講義とグループワークを行った。

５）新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止対策について

　　新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止対策として、オンラインシステム（zoom）を積極的に活用することで、各委員の安全を保障した非接触での会議を合理的かつ効率的に開催することができた。

６）連携について

　　　本協会の教育・研修部や広報・出版部などの各部また各ブロックと連携を図り、活動の推進に努めた。

**３　災害対策委員会**

当委員会は一昨年度より創設された。今年度は昨年度同様、新型コロナウイルスの影響はあったものの、昨年度から加わった協力員と一体となり、より活発に活動を行うことができた。

また、これまで進めてきた協会の組織的な災害対策に加え、災害が起きた現場に赴いて行う災害支援活動についてもより具体的な体制作りに向けて議論を進めることができた。

以下、今年度の具体的な取り組みについて報告する。

【役員・協力員体制】

委員長　：　津田　俊彦（帯広ケア・センター/多機能型事業所稲田館）

担当理事：　橘　武蔵（旭川圭泉会病院）

協力員　：　山村　哲（なるかわ病院）

竹内　亮平（三愛病院、日胆ブロック理事）

照井　涼子（北海道大学病院）

活動報告

１．体制整備に関する活動

（１）委員会

　第1回委員会

日　時：2022年４月６日（水）

場　所：Zoomによる開催

参加者：津田、橘、山村、竹内、照井　計５名

議　題：災害時安否確認訓練結果について

　　　　北海道協会内の災害対策の体制整備について

　　　　福島県外避難者の心のケア事業について

　第２回委員会

　日　時：2022年６月15日（水）

場　所：Zoomによる開催

参加者：津田、橘、山村、竹内、照井　計５名

議　題：日本協会災害対策委員の推薦について

　　　　今年度の活動について

　　　　福島県外避難者の心のケア事業について

　災害対策委員懇談会

　日　時：2022年８月２日（火）

場　所：Zoomによる開催

参加者：津田、橘、山村、竹内、照井（災害対策委員会）

　　　　村田、幡、越野、服部、矢田、神代、角、小山内、藤井、河﨑

（北海道協会ブロック理事、社会活動・研究部理事、日本協会災害対策委員）　計15名

議　題：北海道協会における災害対策とその意義について

　　　　各部・ブロックの緊急時連絡体制について

　　　　北海道DPATについて

第３回委員会

　日　時：2022年９月20日（火）

場　所：Zoomによる開催

参加者：津田、橘、山村、竹内、照井　計5名

議　題：道南地域の豪雨災害とその対応について

　　　　災害支援ガイドラインの改訂について

　　　　福島県外避難者の心のケア事業について

第４回委員会

　日　時：2022年10月31日（月）

場　所：Zoomによる開催

参加者：津田、橘、山村、竹内、照井　計5名

議　題：北海道協会における災害支援活動について

　　　　福島県外避難者の心のケア事業について

第５回委員会

　日　時：2022年12月12日（月）

場　所：Zoomによる開催

参加者：津田、橘、山村、竹内、照井　計5名

議　題：北海道協会における災害支援活動について（災害対策本部の立ち上げ、地方自治体との協定等）

　　　　福島県外避難者の心のケア事業について

第６回委員会

　日　時：2023年１月30日（月）

場　所：Zoomによる開催

参加者：津田、橘、山村、竹内、照井　計5名

議　題：北海道協会における災害支援活動について（災害対策本部の立ち上げ、地方自治体との協定等）

　　　　福島県外避難者の心のケア事業について

　　　　全国災害対策委員講習会の伝達について

第７回委員会

　日　時：2023年２月20日（月）

場　所：Zoomによる開催

参加者：津田、橘、山村、竹内、照井　計5名

議　題：北海道協会における災害支援活動について（災害対策本部の立ち上げ、地方自治体との協定等）

　　　　福島県外避難者の心のケア事業について

　　　　ブロック災害対策連絡会について

（２）連絡体制の構築

　協会事務局から全会員を対象にメールアドレスの登録を呼びかけてきた。現在までに会員全体の半数程度まで登録が進んでいるが、その後登録は伸び悩んでおり、会員への連絡体制整備について再検討が必要となっている。協会理事間ではSlackというアプリを活用し目的別の連絡が取れるよう体制整備を行っているがこれもまだ使いこなせておらず、課題が残っている。

（３）災害時安否確認訓練

　東日本大震災以降、毎年３月11日に実施してきた安否確認訓練を今年度も実施した。

今回は各部・ブロックにおける会員からの情報収集をよりスムースに行い、集めた情報を効率的に集計するため、Googleフォームを使用した。

（４）日本協会災害対策委員との連携

　日本精神保健福祉士協会から委嘱を受けた災害対策委員が現在計９名登録されている（各ブロック理事との兼務者３名、ブロック毎の委員４名、当委員会２名）。当委員会と日本協会災害対策委員との連携を図るため、昨年度に続けて懇談会を実施した。この場で北海道協会として災害対策に取り組む意義の再確認、その他災害対策委に関連する話題を共有した。

２．福島県からの委託事業

　2015年度から受託している「福島県外避難者の心のケア事業」を引き続き受託した。今年度も昨年度同様、新型コロナウイルスの感染拡大の影響があり、通常通りの活動が出来なかったが、広報活動日からを入れて行った。次年度についても継続して受託する予定だが、事業内容については福島県と協議中である。

**Ⅲ　各ブロック事業報告**

**１　札幌東ブロック（会員数102名）**

2022年度は、５回にわたるブロック研修を予定していた参集型で行い、新型コロナウイルスの感染状況に合わせて一部オンライン開催を取り入れながら実施することができた。研修参加者とは共に学びながら、交流を深める機会にもなっている。  
　ソーシャルワーカーデーはコロナ禍により2年連続で中止となっていたが、本年度は４団体（北海道社会福祉士会、北海道医療ソーシャルワーカー協会、北海道介護福祉士会、当会）で連携を取りながら実施することができた。

ブロック内の打ち合わせはグループメールおよびオンライン会議を利用し、活動を継続することができている。

【役員・協力員】（以下敬称略）

ブロック理事　　服部　篤隆 （多機能型事業所　ここリカ・プロダクション）

　ブロック協力員　稲垣　麻里子 （多機能型事業所　PEER＋design）

神野　唯史 （さっぽろ地域生活支援センター）

田中　雅人 （グループホーム　ビビット南郷）

　　　　　　　　　永井　順子 （北星学園大学）

村田　育洋 （就労移行支援事業所　ホワイトストーン）

１）ブロック会議の実施

　① 第１回　ブロック会議

日時：2022年4月7日（木）　19：00～20：35

場所：オンライン開催

　　　　出席：服部、稲垣、神野、田中、村田

内容：ブロック研修打ち合わせ、災害対策委員について

　② 第２回　ブロック会議

日時：2022年6月 6日（月）　19：00～20：50

　　　　場所：オンライン開催

　　　出席：服部、神野、田中、永井、村田、資格実習部 鶴羽理事

内容：ブロック研修及び新人向け研修打ち合わせ、災害対策委員、ソーシャルワーカーデーについて

③ 第３回　ブロック会議

日時：2022年8月4日（木）　19：00～20：00

　　　場所：オンライン開催

　　　出席：服部、稲垣、神野、村田、資格実習部 鶴羽理事、北海道医療大学 奥田かおり氏、

内容：ブロック研修について

④ 第４回　ブロック会議

　　　　日時：2022年11月10日（木）　19:00～20：30

　　　　場所：オンライン開催

　　　　出席：服部、稲垣、田中

内容：新人向け研修について

２）札幌東ブロック研修

　テーマ：スーパービジョンを通した人材育成～人の力を伸ばすために～

内　容：講義・グループワーク

1. 第１回研修会

日時：2022年8月6日(土) 13：30～15：30 　　場所：ホワイトストーン（ハイブリッド開催）

講師：北海道医療大学　奥田かおり氏　　 　　参加者：13名

1. 第２回研修会

日時：2022年10月8日(土) 13：30～15：30　　場所：ホワイトストーン（ハイブリッド開催）  
　　参加者：10名

1. 第３回研修会

日時：2022年12月10日(土) 13：30～15：30　　場所：オンライン開催　　参加者：9名

1. 第４回研修会

日時：2023年1月14日(土) 13：30～15：30　　場所：ホワイトストーン（ハイブリッド開催）

参加者：10名

1. 第５回研修会

日時：2023年2月4日(土) 13：00～16：00　　場所：ホワイトストーン（ハイブリッド開催）　　  
講師：北海道医療大学　向谷地生良氏　　　　　参加者：13名

３）他団体との関係

・ソーシャルワーカーデー記念行事　相談員派遣事業

本事業は、北海道社会福祉士会、北海道医療ソーシャルワーカー協会、北海道介護福祉士会、当会の４団体で合同開催している。

① ソーシャルワーカーデー実行委員会

日時：2022年9月12日（月）　19：00～20：00　　場所：オンライン開催

内容：ソーシャルワーカーデー打ち合わせ　　　　　出席：服部、稲垣

② ソーシャルワーカーデー2022　～福祉・医療・介護なんでも相談会～

日時：2022年10月2日（日） 10：00～17：00

場所：創世スクエア（札幌市中央区北1条西1丁目）SCARTSモールC

　　　　　対応：服部、稲垣

　　　　　内容：「ＨＴＢまつり2022」会場における「介護の仕事を知ろう！展示・体験・相談ブース」での相談対応

③ ソーシャルワーカーデー実行委員会  
　 　　　 日時：2023年2月28日（火）19：00～20：00　　場所：オンライン開催　　  
　 　　　 内容：ソーシャルワーカーデー振り返り　　　　　出席：服部

**２　札幌西ブロック（会員数78名）**

2022年度は前年度から引き続き「札幌西ブロック定例会」を奇数月に、ブロック会議を偶数月に行うことを基本の形として継続してきた。札幌西ブロック活動の土台を固めることができてきていると考える。また、その過程で新たに２名の方に協力員に加わっていただくことができた。今後は、現在のブロック活動を札幌西ブロックのベースとして継続しつつ、さらなる協力員の増員および新たなブロック活動執行体制の構築と、構成員向けだけでなく外部へ向けた活動にも取り組んでいきたい。

【役員・協力員】

ブロック理事　幡　直人（札幌心療福祉専門学校）

　ブロック役員　高田　浩行（多機能型事業所　ソウアライブ）

河西　明（札幌国際プラザ多文化交流部SICP登録外国語ボランティア）

畠山　陵（旭山病院）

細田　美保（札幌太田病院）

前川　貴哉（札幌なかまの杜クリニック）

森田　隆介（株式会社　Lily Garden）

１）ブロック会議の実施

①第１回

　日　時：2022年５月13日（金）　19:30～21：00

　場　所：オンライン

　　出　席：高田　畠山　森田　細田　幡　（敬称略）

内　容：次回定例会、今年度のブロック活動について

　　　　　　⇒オンラインでの名刺交換アプリ活用など

　②第２回

　　日　時：2022年６月24日（金）　19:30〜21:00

　　場　所：オンライン

　　出　席：畠山　森田　細田　幡　（敬称略）

　　内　容：次回定例会について、

　　　　　　⇒アンケートフォームでテーマを募集する

　③第３回

　　日　時：2022年８月31日（水）19:30〜21:00

　　場　所：オンライン

　　出　席：高田　畠山　森田　細田　幡　（敬称略）

　　内　容：次回定例会、全道大会、外部に向けた活動、災害支援について

④第４回

　　日　時：2021年10月13日（木）19:30〜21:00

　　場　所：オンライン

　　出　席：高田　畠山　細田　前川　幡　（敬称略）

　　内　容：新協力員のご挨拶、次回定例会、外部に向けた活動について

　⑤第５回

　　日　時：2022年12月26日（月）19:30〜21:00

　　場　所：オンライン

　　出　席：高田　畠山　森田　細田　前川　幡　（敬称略）

　　内　容：次回定例会、外部に向けた活動について

⑥第６回

　　日　時：2023年２月27日（月）19:30〜21:00

　　場　所：オンライン

　　出　席：高田　森田　細田　前川　河西　幡　（敬称略）

　　内　容：新協力員加入、次回定例会、来年度のブロック体制について

　２）札幌西ブロック定例会

　①第１回

　　日　時：2022年５月19日（木）19:00〜20:30

　　参加者：７名（ブロック理事および協力員含む）

　　内　容：自己紹介、アイスブレイク、精神保健福祉士になったきっかけについて

　②第２回

　　日　時：2022年７月21日（木）19:00〜20:30

　　参加者：12名（ブロック理事および協力員含む）

　　内　容：自己紹介、アイスブレイク、精神保健福祉士の専門性について

　③第３回

　　日　時：2022年９月15日（木）19:00〜20:30

　　参加者：11名（ブロック理事および協力員含む）

　　内　容：自己紹介、アイスブレイク、事例を話題提供とした地域課題について

　④第４回

　　日　時：2022年11月17日（木）19:00〜20:30

　　参加者：13名（ブロック理事および協力員含む）

　　内　容：自己紹介、アイスブレイク、精神保健福祉士としての歩みについて

　⑤第５回

　　日　時：2023年１月19日（木）19:00〜20:30

　　参加者：11名（ブロック理事および協力員含む）

　　内　容：自己紹介、アイスブレイク、不妊処置について

　⑥第６回

　　日　時：2023年３月16日（木）19:00〜20:30

　　参加者：10名（ブロック理事および協力員含む）

　　内　容：虐待報道を受けて組織変革のために自分たちに何ができるか

**３　札幌南ブロック（会員数76名）**

2022年度は札幌南ブロックで全道大会の主幹を担い、他部・ブロックと協力して実施した。

かねてより札幌南ブロックでは、事業所紹介を中心に病院で働くＰＳＷと地域で働くＰＳＷをつなぐ取り組みを行う方針をとっているが、2021年度と同様に取り組みに制限があり、ブロック単位での活動はブロック会議と、災害時アンケートの実施のみとなった。また、協力員についても入れ替わりがあった年度となった。

【役員・協力員】

ブロック理事　越野　雅貴（就労移行支援事業所 リワークあっぷる）

協力員　　山根　彰平（医療法人盟侑会 島松病院）

　　　　　　末重　斗南（医療法人盟侑会 島松病院）

１）ブロック会議の実施

札幌南ブロック会議①・②

日　時①：11月2日　19時から20時

日　時②：1月19日　19時から20時

場　所：①Zoom会議　②ＬＩＮＥ通話

参加者：①②いずれも　越野　山根　末重

内　容：各協力員の活動報告、次年度以降の計画

２）災害アンケートの実施

　札幌南ブロック会員を対象とし、1月31日にアンケートフォームのURLを依頼文とともに発送した。

３）全道大会　開催ブロック

　2022年6月5日にZOOM上で全道大会を開催した。大会テーマを『精神保健福祉士のミライ　～私たちの存在意義とは？』として、シンポジウムを実施した。90名の会員にご参加いただいた。実行委員会は22名が参加し、開催までに9回のZOOM会議を行った。

**４　後志ブロック（会員数21名）**

2022年度は、3年ぶりの集合型でのブロック研修を企画した。当初は7月開催の予定であったが、コロナ感染者数の増加により２度延期となったが、２月に無事開催することができた。集合型の研修と、Zoomでの定例会など、開催方法の選択肢が増えた1年だった。今後は、集合型の定例会も増やしていきたい。毎月の定例会では、日常の悩みについてのグループワークを中心に、引き続き気軽に話せる場となっていた。協会の中では、会員数が最も少ないブロックのため、少ない会員数の中で活動を続けていくための体制作りが課題となる。

【役員体制】

ブロック理事　　神代　直人（障がい者就労支援事業所ワークショップようてい）

副ブロック長　　鈴木　奏会（林病院）

研修担当　　　　黒木　満寿美（倶知安厚生病院）

会計担当　　　　神代　直人（障がい者就労支援事業所ワークショップようてい）

1. 部会及びその他打ち合わせ
   1. ブロック会議

日　時：2022年５月19日　18:30～21:00

場　所：Ｚｏｏｍを使用したオンライン会議

内　容：理事会報告、ブロック研修について

参　加人数：　６名

* 1. ブロック会議

日　時：2022年６月16日　18:30～20:00

場　所：Ｚｏｏｍを使用したオンライン会議

内　容：ブロック研修打ち合わせ、グループワーク「町営住宅に入居できなかったケース その後」

参加人数：　５名

* 1. ブロック会議

日　時：2022年７月21日　18:30～20:00

場　所：Ｚｏｏｍを使用したオンライン会議

内　容：ブロック研修打ち合わせ

参加人数：　5名

* 1. ブロック会議

日　時：2022年８月18日　18:30～20:00

場　所：Ｚｏｏｍを利用したオンライン会議

内　容：ブロック研修打ち合わせ、グループワーク「精神保健福祉士の専門性について」

参加人数：　６名

* 1. ブロック会議

日　時：2022年９月15日　18:30～20:00

場　所：Ｚｏｏｍを利用したオンライン会議

内　容：ブロック研修打ち合わせ、グループワーク「施設内での金銭管理について」

参加人数：　６名

* 1. ブロック会議

日　時：2022年10月20日　18:30～20:30

場　所：Ｚｏｏｍを利用したオンライン会議

内　容：理事会報告、ブロック研修打ち合わせ、災害対策について

参加人数：　５名

* 1. ブロック会議

日　時：2022年12月15日　18:30～20:00

場　所：Ｚｏｏｍを利用したオンライン会議

内　容：次年度の活動について(ブロック理事改選について)、ブロック研修打ち合わせ

参加人数：　４名

* 1. ブロック会議

日　時：2023年１月19日　18:30～20:00

場　所：Ｚｏｏｍを利用したオンライン会議

内　容： ブロック研修打ち合わせ、次年度の活動について

参加人数：　３名

* 1. ブロック会議

日　時：2023年２月16日　18:30～20:00

場　所：Ｚｏｏｍを利用したオンライン会議

内　容：ブロック研修準備、打ち合わせ

参加人数：６名

* 1. 後志ブロック研修会

日　時：2023年２月18日　14:00～16:00

　テーマ：「後志を知るべし！～レジェンドからのバトン～～」

　　　シンポジスト：

　　　黒木 満寿美氏（倶知安厚生病院）

安田　亜子氏（特定非営利活動法人しりべし圏域総合支援センター）

浦部 祐夫氏（社会福祉法人塩谷福祉会やすらぎ）

場　所：社会福祉法人塩谷福祉会

参加人数：12名(ブロック会員７名、非会員４名、学生1名)

* 1. 後志ブロック会議

日　時：2023年３月16日　18:30～20:00

場　所：Ｚｏｏｍを利用したオンライン会議

内　容：理事会報告、ブロック研修振り返り、安否確認訓練振り返り、令和４年度振り返り、次年度

の活動について

参加人数：５名

**５　道南ブロック（会員数52名）**

前年度同様、感染予防を意識しZOOMを活用しながらの会議運営や研修会を実施する事が出来た。更に、感染状況に応じて家族支援ネットワーク、令和５年２月、３月開催の定例会については、ハイブリット開催にて実施することが出来た。

ブロック会議では、道南ブロックの体制強化、新たな事業の取り組みについて各会員より提案を受けながら検討し、次年度には資格実習部と連携しスーパービジョンの普及啓発活動、当事者家族の会より挙がった要望について次年度の検討に繋がることが出来た。

派遣活動についても前年度同様にWEＢ開催、書面開催が中心となっていたが、一部集合型での派遣も再開となっている。そして3年ぶりに社会福祉士会、医療ソーシャルワーカー協会との合同研修をハイブリットにて開催することが出来た。

災害支援の取り組みについては、災害対策委員と協力をしながら避難指示に合わせ安否確認を実施。令和４年８月には道南全域に大雨警報が出され八雲町の会員が被災地を訪問している。八雲町との災害時における連携について協議され、次年度の課題となっている。

【役員・協力員】

ブロック長　佐久間　裕（函館渡辺病院）

副ブロック長　吉田　尚教（八雲総合病院）

研修担当　長南　拓馬（函館渡辺病院）

会計担当　安藤　由佳（函館渡辺病院）

事務局　矢田　洋介（トータスホーム）、吉田　今日子（函館地域生活支援センター）、

　　　　髙森　秀雄（ら・ぽると精神保健福祉士事務所）山村　哲（なるかわ病院）

協力員　斉藤　雄大（トータスホーム）、藤井　雅幸（函館保護観察所）、村田　育美（富田病院）、船矢　直子（函館市教育委員会南北海道教育センター）

１）研修報告

① 第1回道南ブロック定例会

　　　　場所：WEB研修

　　　　日時：2022年8月24日（水）19：00～20：30

　　　　参加者：20名

　　　　内容：新規会員向け顔合わせ交流会

② 第2回道南ブロック研修（資格実習部との共催）

　　　　場所：函館デイケアセンター（WEBとのハイブリット開催）

　　　　日時：2023年2月18日（土）13：30～15：30

　　　　参加者：会場参加12名、WEB参加3名、オンデマンド配信希望者5名

　　　　内容：「スーパービジョンとは？〜支援の質を高めるために、できること〜」

　　　　講師：橋本達志氏

③ 第3回道南ブロック定例会（資格実習部との共催）

　　　　場所：函館デイケアセンター（WEBとのハイブリット開催）

　　　　日時：2023年3月25日（土）13：30～16：00

　　　　参加者：会場参加16名、WEB参加1名

　　　　内容：スーパービジョン実践研修

　　　　講師：橋本　達志氏

（北海道精神保健福祉士協会副会長、日本精神保健福祉士協会認定スーパーバイザー）

④ ３団体合同研修会

　　　場所：亀田交流プラザ

　　　日時：2023年3月4日（土）13：45〜16：45

　　　内容：①講演「権利擁護」〜私たちの存在意義〜

「倫理綱領」「行動規範」とソーシャルワーク実践

②シンポジウム　「権利擁護～私たちの存在意義～」

　　　講師：①中田　雅章氏

　　　　　（中田社会福祉士事務所　所長、日本社会福祉士会 副会長）

　　　　　　②木田　祥平氏　（北海道社会福祉士会　ワークセンター一条）

古川　伊代氏　（北海道医療ソーシャルワーカー協会　函館五稜郭病院　）

佐久間　裕氏　（北海道精神保健福祉士協会　函館渡辺病院）

２）道南地域精神障害者家族支援ネットワーク

1. 第1回　道南地域精神障害者家族支援ネットワーク（ハイブリット開催）

場所：亀田交流プラザ（函館市）、せたな交流プラザ（せたな町）、オンライン

　　　　日時：2022年11月12日（土）13：30～15：30

　　　　参加者：会場参加家族15名

（内訳：函館市4名、せたな町10名、オンライン参加1名）

対応スタッフ：亀田交流プラザ（佐久間、藤井、長南）

せたな町高齢者センター（小倉）

オンライン参加（山下、中山）

　　　　内容： （１）学習会「道南地域における精神科病院と支援機関の紹介」

（２）参加者交流（オンライン参加者も含む）

1. 第2回　道南地域精神障害者家族支援ネットワーク（ハイブリット開催）

　　　　場所：亀田交流プラザ（函館市）、せたな交流プラザ（せたな町）、オンライン

　　　　日時：2023年3月11日（土）13：30～15：30

　　　　参加者：会場参加家族10名

（内訳：函館市4名、せたな町8名、オンライン参加1名）

対応スタッフ：亀田交流プラザ（長南、藤井）

せたな町高齢者センター（吉田（尚）、小倉）

　　　　内容： （１）学習会「地域で役に立つ支援ネットワーク」吉田（今）「北渡島北檜山の医療、福祉サービスについて」吉田（尚）

（２）参加者交流会（オンライン参加者も含む）

３）部会その他打ち合わせ

1. ブロック会議

・第１回　ブロック会議（オンライン開催）

　　　　日時：2022年5月12日（木）18：30～20：00

　　　　参加者：安藤、佐久間、髙森、長南、藤井、村田、矢田、山村、吉田（今）、吉田（尚）

　　　　内容：道南ブロック体制について、今年度活動について

・第２回　ブロック会議（オンライン開催）

　　　　日時： 2022年6月27日（木）18：30～20：30

　　　　参加者：安藤、衣笠、佐久間、髙森、長南、船矢、矢田、山村、吉田（今）、吉田（尚）

　　　　内容：道南ブロック研修について

・第3回　ブロック会議（オンライン開催）

　　　　日時：2022年8月8日（月）18：30～20：30

　　　　参加者：斉藤、佐久間、髙森、藤井、船矢、矢田、山村、吉田（今）、吉田（尚）

　　　　内容：第一回定例会について、活動スケジュール確認

・第4回　ブロック会議（オンライン開催）

　　　　日時：2022年11月15日（火）19：00～21：00

　　　　参加者：安藤、佐久間、斉藤、長南、藤井、船矢、矢田、山村、吉田(尚)

　　　　内容：道南ブロックスーパービジョンの取り組み、家族会からの要望検討

・第5回　ブロック会議（オンライン開催）

　　　　日時：2022年12月20日（火）19：00～21：00

　　　　参加者：斎藤、佐久間、髙森、藤井、船矢、村田、矢田、山村、吉田(今)、吉田（尚）

　　　　内容：・八雲町災害連携について

・配偶者パートナーの集いから出された要望

　　　　　　　・あすなろ福祉会について情報共有、意見交換

　　　　　　　・地域包括支援センター連絡協議会との連携

　　　　　　　・道南地域におけるスーパービジョン普及啓発活動

・第6回　ブロック会議（オンライン開催）

　　　　日時：2023年2月28日（火）18：30～20：30

　　　　参加者：安藤、佐久間、長南、村田、矢田、山村、吉田（尚）

　　　　内容：次年度のスケジュール検討、次年度体制について

1. 定例会実行委員会

・第1回　道南ブロック定例会実行委員会

日時：2022年11月1日（火）19：00～21：00

　　　　参加者：佐久間、長南、山村、吉田（今）、吉田（尚）

　　　　内容：第２回目以降の内容検討

・第2回　道南ブロック定例会実行委員会

日時：2022年12月9日（金）19：00～21：00

　　　　参加者：伊藤、佐久間、長南、矢田、山村、吉田（今）、吉田（尚）資格実習部鶴羽部長、橋本副

会長、松浦理事

　　　　内容：スーパービジョン研修の検討、道南地域へのスーパービジョン普及活動

・第３回　道南ブロック定例会実行委員会

日時：2023年1月27日（火）18：30～20：30

　　　　参加者： 佐久間、長南、山村、吉田（今）、吉田（尚）

　　　　内容：研修内容検討

・第4回　道南ブロック定例会実行委員会

日時：2023年3月1日（水）18：30～20：30

　　　　参加者：長南、山村、吉田（今）、吉田（尚）

　　　　内容：研修内容検討

③　ワーキンググループ（精神障害者家族支援活動）

・第1回　家族支援ネットワーク　ワーキンググループ（オンライン会議）

　　　　日時：2022年4月27日（水）18：30～20：30

　　　　参加者：小倉、長南、中山、藤井、山下、吉田（今）、吉田（尚）

　内容：開催スケジュールの確認、第一回内容の検討、

・第２回　家族支援ネットワーク　ワーキンググループ（オンライン会議）

　　　　時間：2022年7月30日（土）14：00～16：00

　　　　参加者：長南、中山、藤井、山下、吉田（今）、吉田（尚）

　内容：対面での開催方法検討

・第３回　家族支援ネットワーク　ワーキンググループ（オンライン会議）

　　　　時間：2022年9月8日（木）18：30～20：00

　　　　参加者：佐久間、長南、藤井、吉田（今）、吉田（尚）

　　　　内容： 第1回目開催内容検討、対面開催方法検討

・第４回　家族支援ネットワーク　ワーキンググループ（オンライン会議）

　　　　時間：2022年9月27日（木）18：30～20：00

　　　　参加者：佐久間、長南、藤井、吉田（尚）

　　　　内容：感染対策について、函館新聞掲載について

・第5回　家族支援ネットワーク　ワーキンググループ（オンライン会議）

　　　　時間：2022年12月12日（月）18：00～19：00

　　　　参加者：小倉、長南、藤井、山下、吉田（尚）

　　　　内容：第２回開催内容検討

・第6回　家族支援ネットワーク　ワーキンググループ（オンライン会議）

　　　　時間：2023年1月25日（月）18：30～20：30

　　　　参加者：佐久間、長南、中山、藤井、吉田（今）、吉田（尚）

　　　　内容：第２回開催内容検討

④　3団体合同研修会実行委員会

・第1回 ３団体合同研修会実行委員会

　　　時間：2022年11月29日（火）19：00〜21：00

参加者：斉藤

　　　内容：社会福祉士会主幹開催確認、研修内容検討

・第2回 ３団体合同研修会実行委員会

　　　時間：2023年1月30日（月）19：00〜21：00

参加者：斉藤、船矢

　　　内容：研修内容検討

・第3回 ３団体合同研修会実行委員会

　　　時間：2023年2月15日（水）19：00〜21：00

参加者：斉藤

　　　内容：当日のタイムスケジュール検討、研修内容検討

・第４回 ３団体合同研修会実行委員会

　　　時間：2023年2月16日（木）19：00〜21：00

参加者：斉藤、佐久間、船矢

　　　内容：研修内容確認

・第５回 ３団体合同研修会実行委員会

　　　時間：2023年3月2日（木）18：30〜20：30

参加者：佐久間

　　　内容：シンポジウム内容確認、事前打ち合わせ

⑤　地域包括支援センター連絡協議会連携協議会

・第1回地域包括支援センター連絡協議会実行委員会（オンライン開催）

　　　　時間2023年3月9日（木）14：00～15：30

　　　　参加者：佐久間、吉田

　　　　内容：次年度研修開催内容検討、包括連協とPSW協会の連携の在り方について

他団体との関係

【委員委属・推薦】

・函館地域障害者自立支援協議会委員　任期：2021年8月1日～2023年7月31日　佐久間理事

・函館市認知症初期集中支援チーム検討委員会委員　任期：2020年11月28日～2022年11月27日　工藤奈緒子会員

・函館市自立支援協議会担当者会議（地域移行定着部会）　山村会員

【渉外活動・派遣】

・福祉職場説明会　2022年7月16日（土）髙森秀雄会員出席

・函館市自殺対策実務者会議　2022年8月25日（木）　川口裕太会員出席

・北斗市介護職員向け勉強会講師　令和４年11月１7日（木）佐久間理事出席

**６　道北ブロック（会員数89名）**

　引き続きコロナ禍でリアルでの活動が制限される中、各地域での活動で収まることがほとんどであった。地理的条件を考慮しても、１か所に参集するのは困難な代わりに、各地域で活動する協会員との連携やブロックとしてバックアップをするという形の方が現状では合っている可能性がある。また、メーリングリストだけではなく、Slackを活用して迅速かつ漏れのない連携体制の構築を試行錯誤しながら行なってきた。今後も広大な地域をカバーしていくためにも、ITツールの活用がますます重要になってくることを実感した１年であった。

ブロック研修では、旭川地区が中心となってハイブリッドでの研修会を開催した。当日は30名の参加と、昨年度よりも１.５倍の参加人数であり、より参加しやすくするためのハイブリッド開催方式の可能性を見出すことができた。

【役員・協力員】（敬称略）

ブロック長　　　　角　幸樹（北の大地）

協力員　　　　　　佐藤　剛（旭川市障害者総合相談支援センターあそーと）、

鈴木　翔太郎・高橋　あかね（旭川圭泉会病院　）

斉藤　健哉（旭川保護観察所）、藤岡　美奈（いいだメンタルペインクリニック）、小林　弘明（宿泊型自立訓練事業所　なかま）、

岩間　孝介・幸内　大樹（玉越病院）、梶井　綾子（端野病院）、

佐々木　旭美（砂川市立病院）、野嶋　督昭（荻野病院）、

佐々木　麻美（富良野東中学校）、南川　大（ここりん相談室）

１）研修報告

道北ブロック研修会

日　時：2023年１月22日(日)　13：30～16：30　（受付13：15～）

場　所：旭川市障害者福祉センター「おぴった」

方　法：オンライン・会場のハイブリッド

・基調講演「道北地域における PSW の萌芽～PSW の今とこれからを考える～」

講師：日本医療大学 総合福祉学部ソーシャルワーク学科 准教授 松浦 智和 氏

・実践報告「各圏域からの PSW の実践」

報告者

医療法人社団 圭泉会 旭川圭泉会病院 医療相談室 鉛口 佳奈子 氏

医療法人社団 拓美会 玉越病院 医療相談室 岩間 孝介 氏

社会福祉法人 エクゥエート富良野 富良野地域生活支援センター 久田 到 氏

・パネルディスカッション「各圏域での実践と PSW の今とこれからを考える」

コーディネーター：松浦 智和 氏

パネラー：鉛口 佳奈子 氏・岩間 孝介 氏・久田 到 氏

２）部会及びその他打ち合わせ

①ブロック会議

日　時：2022年６月20日（月）　19:00～20:00

場　所：ZOOMミーティングルーム　　　参加者：12名

内　容：今年度の活動について、情報共有

②ブロック会議

日　時：2022年８月12日（金）　19:00～20：00

場　所：ZOOMミーティングルーム　　　参加者：９名

内　容： 情報共有、Slackの使用方法

③研修会議

日　時：2022年９月26日（月）　18:30～19:30

場　所：ZOOMミーティングルーム　　　参加者：６名

内　容： ブロック研修打ち合わせ

④ブロック会議

日　時：2022年10月５日（水）　19：00～20：00

場　所：ZOOMミーティングルーム　　　参加者：10名

内　容： 情報共有

⑤研修会議

日　時：2022年10月12日（火）　18:30～19:30

場　所：ZOOMミーティングルーム　　　参加者：５名　　　参加者（敬称略）：５名

内　容： ブロック研修打ち合わせ

⑥研修準備

日　時：2022年1１月２日（水）　18:30～19:30

場　所：ZOOMミーティングルーム　　　参加者：６名

内　容： ブロック研修打ち合わせ

⑦ブロック会議

日　時：2022年11月16日（水）　19：00～20：00

場　所：ZOOMミーティングルーム　　　参加者：８名

内　容：情報共有、意見交換、研修会について

⑧ブロック会議

日　時：2023年１月12日（水）　19:00～20:00

場　所：ZOOMミーティングルーム　　　参加者：11名

内　容：情報共有、意見交換、研修会について

⑨研修会議

日　時：2023年１月17日（火）　　18:30～19:30

場　所：ZOOMミーティングルーム　　　参加者（敬称略）：７名

内　容：ブロック研修最終確認

３）他団体との関係

【委嘱】

・旭川市障害者自立支援審査会委員　委嘱者：佐藤　剛（あそーと）

・旭川地裁調停委員：鉛口　佳奈子（旭川圭泉会病院）

・上川中部障害支援区分審査会委員：橘　武蔵（旭川圭泉会病院）

・北見市障がい支援区分認定審査会　委嘱者：岩間　孝介（玉越病院）

・北見市障がい自立支援ネットワーク会議　委嘱者：岩間孝　介（玉越病院）

・北見市成年後見支援センター運営委員会・審査委員会　委嘱者：岩間　孝介（玉越病院）、梶井　綾子（端野病院）

【共催】

・ワーカーズサロン　事務局

対応：鈴木翔太郎（旭川圭泉会病院）

　社会福祉士会、介護福祉士会、精神保健福祉士会協働の研修会等、協賛金

**７　道東ブロック（会員数61名）**

2022年度も新型コロナウイルス感染症の影響があり、ブロック会議及びブロック役員等会議、ブロック研修会はオンラインやハイブリッド（参集＋Zoom）を中心に開催した。制限や工夫が必要な中ではあったものの、ブロック内の活動及び渉外活動は滞りなく行うことができた。次年度以降についても、道東ブロック内の会員のつながりを意識した研修等の開催や新規会員の獲得に努めたい。

また、2023年５月に開催する全道大会に向けて実行委員会を立ち上げ、ブロック役員等を中心に準備を進めている。同大会はハイブリッドでの開催を予定しており、一人でも多くの会員が参加できるように開催方法等を検討している。

【役員・協力員】（敬称略）

　ブロック長：池田　侑子　（自宅）

　副ブロック長：加藤　　司　（釧路保護観察所）

　研修担当：鹿嶋　彰子　（おおえメンタルクリニックゆう）

　会計担当：小山内　彩実（帯広刑務所）

　事務局：匂坂　幸輝　（大江病院）

永野　拓己　（ココスタディ）

　協力員：木村　　孝　（合同会社リコラ）

　　　　　　　　国枝　歩実　（帯広ケア・センター）

　　　　　　小森　花奈　（釧路児童相談所）

　　　　　　　　佐々木　寛　（ソーシャルカフェ）

　　　　　　　　高田　　歩　（市立釧路総合病院）

　　　　　　　　田中　洋亘　（北海道立緑ヶ丘病院）

谷野　朱莉　（十勝障がい者就業・生活支援センターだいち）

　　　　　　　　津田　俊彦　（多機能型事業所稲田館、帯広ケア・センター）

　　　　　　中田　奈美　（釧路市社会福祉協議会釧路市権利擁護成年後見センター）

　　　　　　新田　雄大　（釧路市社会福祉協議会釧路市権利擁護成年後見センター）

早川　博司　（地域生活支援センター・ハート釧路）

　　　　　　　　浜尾　勇貴　（あくせす根室）

　　　　　　　　丸瀬　　恵　（十勝障がい者総合相談支援センター）

　　　　　　三上　雅丈　（多機能型事業所稲田館）

　　　　　　　　山田　圭子　（釧路保護観察所）　　　　　　　　　　　　　　　　計21名

１）研修報告

①【道東ブロック研修会】

　　日　時：2022年12月10日（土）14:30～16:00

方　法：会場（釧路市交流プラザさいわい）＋ＺＯＯＭ

　　参加者：14名

内　容：更生保護について～精神保健福祉士とのつながり～

　　　　講師：釧路保護観察所企画調整課長沖崎佳奈恵氏

②【道東ソーシャルワーク研究会（ＰＭＣラボ）研修会】

　　※北海道精神保健福祉士協会道東ブロック（P）

北海道医療ソーシャルワーカー協会東支部（M）

北海道社会福祉士会十勝地区支部（C）※2022年度主幹

北海道社会福祉士会釧根地区支部（C）

日　時：2023年２月18日（土）14:00～16:00

方　法：Zoom

参加者：14名

内　容：災害支援について～身近な専門職の活動から考える～

講　師：鈴木　智之　氏（薬剤師：ナカジマ薬局芽室店店長）

　　　　津田　俊彦　氏（精神保健福祉士：北海道精神保健福祉士協会事務局理事）

　　　　山口　　潤　氏（社会福祉士：北海道社会福祉士会理事十勝地区支部副支部長）

③【脳外傷リハビリテーション講習会】

日　時：2022年９月10日（土）13:30～16:30

　　場　所：ラスティングホテル

　　講　師：浜尾　勇貴　氏（あくせす根室）

　　　　　　伊藤　裕希　氏（クラブハウスコロポックル）

④【福祉に関する周知イベント】

日　時：2022年７月18日（月）

場　所：イオンモール釧路昭和

２）部会及びその他打ち合わせ

①【ブロック会議】

第１回ブロック会議

日　時：2022年６月11日（土）10:30～13:30

方　法：会場（釧路市交流プラザさいわい）＋Zoom

出席者：10名（Zoom参加２名）

議　事：2022年度ブロック事業方針、役員・協力員体制、活動内容等について

第２回ブロック会議

日　時：2022年８月６日（土）10:30～12:30

方　法：Zoom

出席者：８名

議　事：ブロック活動、研修会の進捗状況と報告、今後の予定について

第３回ブロック会議

日　時：2022年10月１日（土）10:30～13:30

方　法：会場・帯広生活支援センター

出席者：８名

議　事：ブロック活動の進捗状況、今後の予定について

第４回ブロック会議

日　時：2022年12月10日（土）10:30～13:00

方　法：会場（釧路市交流プラザさいわい）＋Zoom

出席者：11名（Zoom参加５名）

議　事：ブロック活動の進捗状況、次年度役員協力員、事業方針案などについて

第５回ブロック会議

日　時：2023年２月18日（土）10：30～12：50

方　法：会場６名（帯広生活支援センター）＋Zoom２名

議　事：本年度ブロック活動及び研修会の報告、次年度活動内容について

　第６回ブロック会議

　　日　時：2023年３月９日（木）18：30～19：30

　　方　法：Zoom

　　出席者：７名

　　議　事：次年度のブロック体制及び事業計画の確認並びに全道大会に係る打合せ

②【ＰＭＣラボ（道東ソーシャルワーク研究会）】

第１回ＰＭＣラボ実行委員会

日　時：2022年９月15日（木）19:00～19:45

場　所：Zoom会議

出席者：当ブロック会員２名

議　事：ＰＭＣラボ研修会の内容について

第２回ＰＭＣラボ実行委員会

日　時：2022年10月17日（月）19:00～19:30

場　所：Zoom会議

出席者：当ブロック会員２名

議　事：ＰＭＣラボ研修会の内容について

第３回ＰＭＣラボ実行委員会

日　時：2022年12月27日（火）19:00～20:30

場　所：Zoom会議

出席者：当ブロック会員２名

議　事：ＰＭＣラボ研修会の内容について

③【ブロック役員等打合せ】

第１回道東ブロック役員等打合せ

日　時：2022年６月２日（木）18:30～20:00

場　所：Zoom会議

出席者：３名

議　事：ブロック長不在時の対応、役割分担について

第２回道東ブロック役員等打合せ

日　時：2022年８月12日（金）18:30～20:20

場　所：Zoom会議

出席者：２名

議　事：役割分担について、全道大会に係る打合せ

第３回道東ブロック役員等打合せ

日　時：2022年９月26日（月）18:30～21:00

場　所：参集（ココスタディ）

出席者：５名

議　事：役割分担について、全道大会に係る打合せ

第４回道東ブロック役員等打合せ

日　時：2023年２月２日（木）18:30～20:30

場　所：Zoom会議

出席者：５名

議　事：全道大会に係る打合せ等

第５回道東ブロック役員等打合せ

日　時：2023年２月13日（月）18:30～20:30

場　所：参集（ココスタディ）

出席者：４名

議　事：全道大会に係る打合せ等

　第６回道東ブロック役員等打合せ

　　日　時：2023年２月24日（金）18：30～20：00

　　場　所：Zoom会議

　　出席者：４名

　　議　事：次年度ブロック体制確認

　④【全道大会に係る打合せ】

　第１回全道大会打合せ

　　日　時：2022年７月26日（火）18:30～20:00

　　場　所：Zoom会議

　　出席者：10名

　第２回全道大会打合せ

　　日　時：2022年８月４日（木）18:30～20:00

　　場　所：Zoom会議

　　出席者：９名

　第３回全道大会打合せ

　　日　時：2022年９月14日（水）18:30～21:00

　　場　所：Zoom会議

　　出席者：９名

３）他団体との関係

①　【委員委嘱・推薦】

・帯広市自立支援審査会委員　任期：2021年４月１日～2023年３月31日

永野会員、森会員、匂坂会員

2021年４月１日～2021年12月　山口会員

2022年１月～2023年３月31日　国枝会員

※山口会員が転居のため、任期途中で国枝会員に変更

・釧路市障害支援区分等審査会委員　任期：2021年４月１日～2023年３月31日　木村会員

・釧路町障害者計画等策定委員会委員　任期：2021年４月１日～2023年３月31日　木村会員

・釧路町障害支援区分等審査会委員　任期：2021年４月１日～2023年３月31日　佐々木会長

・釧路市権利擁護成年後見センター運営協議会委員

任期：2021年６月１日～2023年５月31日　佐々木会長

・十勝保健医療福祉圏域連携推進会議　精神保健医療福祉対策専門部会委員

任期：2020年７月10日～2024年６月16日　匂坂会員

1. 【渉外活動・派遣】

・福祉に関する周知イベント　2022年７月18日　浜尾会員

・帯広市健康生活支援審議会　障がい福祉計画の見直し　2022年11月26日　津田会員

　・次世代の担い手育成推進事業に係る福祉教育アドバイザー　2023年１月20日　加藤会員

・道東地域医療観察制度地域連絡協議会及び令和４年度釧路保護観察所管内薬物関係地域連絡協議会

2023年２月９日　三上雅丈会員

**８　日胆ブロック（会員数50名）**

2022年度は、これまでのコロナ禍の活動をさらに活性化するような一年となった。例年同様、ブロック会議を２回、研修会を２回開催したことに変わりないが、そのうち研修会の１回を参集による開催として実施した。コロナ禍では、感染対策上どうしてもオンライン開催がメインとなっていたが、年度末に地域の感染状況をみて判断した。会員同士の「顔の見える連携体制の構築」を意識したブロック活動の中では、顔を合わせてコミュニケーションをとることの大切さを再認識する機会となり、参加した会員からも好評だった。今後はオンラインと参集の相互の良さを考えながら活動していきたい。

研修会では、『日胆ブロックを語ろうシリーズ』と題し、日胆ブロック内の実践に焦点を充てた企画を用意した。こうした企画は、地域の実践を知り、当事者支援に活用していく事はもちろん、支援者同士の連携体制の構築にも繋がる取り組みだと思っている。今後も、会員のニーズに沿った研修を実施し、会員にとって身近で参加のしやすいブロック研修を企画していく。

次年度も、引き続き「顔の見える連携体制の構築」を心掛け、より会員同士が身近な存在となり、それがクライエント支援に活かすことができる様なブロック運営に努めていく。

【役員・協力員】（敬称略）

ブロック長：竹内　亮平　（三愛病院）

副ブロック長：高田　大志（浦河ひがしまち診療所）

研修担当：朴　明敏　　　（浦河べてるの家）

会計担当：竹内　亮平　　（三愛病院）

協力員：北條 智幸（室蘭市相談支援センターらん）、岡崎 航一（恵愛病院）、菊田 博章（苫小牧市役所）、滝口 絵美（伊達赤十字病院）、堀 貴仁（植苗病院）、清藤 麗美（北海道メンタルケアセンター）、森山 優子（ミネルバ病院）池田 ニタイ（北海道メンタルケアセンター）、藤井 妃菜（市立室蘭総合病院）

**１）部会及びその他打ち合わせ**

　①第１回ブロック会議

　　日　時：2022年７月25日（月）18：30～20：00

　　方　法：Zoomによるオンライン会議

　　参　加：８名

内　容：理事会情報共有、今年度ブロック体制について、第１回研修会について

②第２回ブロック会議

　　日　時：2022年12月５日（月）18：30～20：00

　　方　法：Zoomによるオンライン会議

参　加：８名

内　容：理事会情報共有、次年度ブロック体制、第２回研修会について

**２）研修会**

　①第1回　研修会

日　時：2022年９月22日（木）18:30～20:30

　　方　法：Zoomによるオンライン研修

　　内　容：『日胆地区を語ろうシリーズ ～コロナ禍における日胆ブロック4地区のデイケアを語る～』

シンポジスト：石井病院デイケア 看護師　岡田　さゆり 氏

こころのクリニック銀杏庵デイケア　OT　林部 健太 氏

三愛病院デイケアさあくる　OT　吉井 烈矢 氏

参加者：29名

　②第2回　研修会

　　日　時：2023年２月18日（土）13:30～16:00

　　場　所：苫小牧市民加藤同センター

　　内　容：『日胆地区を語ろうシリーズ ～精神科病院における退院支援あるあるについて～』

講　師：登別市総合相談支援センターen センター長　北條 智幸 氏

参加者：22名

**Ⅳ　他団体との関係**

【後援】

・令和4年度オンライン福祉職場説明会　2022年６月26日・７月９日・７月10日

・一般社団法人日本精神保健福祉学会学術研究集会　2022年６月25日～26日

・リハビリテーション・ケア合同研究大会苫小牧2022　2022年９月30日～10月1日

・2022障がい者雇用を通して企業づくりを考えるフォーラム　2022年11月17日

・2023年度「第９回　日本褥瘡学会・在宅ケア推進協会　総会・学術集会」　2023年６月24日・25日

・第53回北海道作業療法学会学術大会　2023年６月24日～６月25日

・第48回日本精神科看護学術集会　2023年６月２日～３日

・第66回北海道医療ソーシャルワーク学会　2023年7月22日

【協賛】

・第８回刑法39条、医療観察法を考えるシンポジウム　　2022年10月９日

【委員委嘱】

・日高地方精神保健協会役員　2022年４月１日～　高田　大志会員

・精神保健参与員推薦　佐々木会長

・苫小牧市社会福祉協議会受任調整会議委員　三浦　一郎会員

・北海道精神保健協会理事　2022年７月１日～2024年６月　佐々木会長

・北海道精神保健協会常任理事　2022年7月1日～2024年6月　佐藤副会長　（道協会編集委員兼務）

・学校法人海星学院高等学校第三者委員会委員　2022年８月１日～2024年７月31日　岡崎　航一会員

・社会福祉法人北海道いのちの電話　評議員　佐藤副会長

【推薦】

・旭川地方・家庭裁判所　民事・家事調停委員候補者推薦　2023年４月１日～　鉛口佳奈子会員

・社会福祉士会倫理案件特別委員候補者　2023年１月～2023年３月　小嶋　健二会員

・「札幌市児童等に関する重大事態調査検討委員会」2023年２月１日～2025年１月31日　富岡　麻子会員

・札幌市障害支援区分認定等審査会委員　2023年４月１日～2025年３月31日

照井　涼子会員・稲垣　麻里子会員・辻　のぞみ会員・瀬戸口　祐貴会員・沖田　泰子会員

・旭川市障害者自立支援審査会委員　2023年４月１日～2025年３月31日　佐藤剛会員

・北見地域障害支援区分認定等審査会委員　2023年４月～2025年３月末　岩間孝介会員

・釧路町障害支援区分判定審査会委員　2023年４月１日～　佐々木会長

・上川中部障害支援区分審査会委員　2023年４月１日～2025年３月31日　橘理事

・北海道社会福祉士会倫理委員会委員候補者　2023年６月24日～2025年６月定時総会まで　佐賀事務局次長

・札幌市精神保健福祉審議会委員　2023年４月１日～2026年３月31日　佐藤副会長

・厚岸町障がい者福祉審査会委員　2023年４月１日～2026年３月31日　佐々木寛会長

【渉外活動・派遣】

・札幌市障害支援区分認定等審査会委員　2021年４月１日～2023年３月31日

佐藤副会長・小畑　友希会員・稲垣　麻里子会員・宮城　徹士会員・沖田　泰子会員

・2022年度「次世代の担い手育成推進事業」に係る福祉教育アドバイザー派遣（野幌高等学校）

９月29日　橋本副会長派遣

・令和４年度ケアラ―支援関係者ネットワーク会議　８月４日　佐々木会長出席

・「北海道高次脳機能障害リハビリテーション講習会」実行委員　2022年10月２日　宮本　登世会員

・令和４年度福祉職場説明会相談員派遣　　10月２日、11月３日　鶴羽理事派遣

・社会福祉法人釧路社協　釧路市後見人成年後見センター「市民後見人講座」講師　10月5日　佐々木会長

派遣

・釧路法務局管理職研修「職場におけるメンタルへルス」　10月18日　佐々木会長参加

・2022年度「次世代の担い手育成推進事業」に係る福祉教育アドバイザー派遣（平岡緑中学校）

12月１日　橋本副会長派遣

・2022年度北海道いじめ問題対策連絡協議会　11月14日　河﨑理事出席

・日本精神保健福祉士協会「心のケア相談研修」竹内理事（北海道枠）橋本副会長（政令都市枠）出席

・令和４年度福祉のしごと就職フェア相談員派遣　３月５日　酒井　幸樹会員派遣

・2022年度「次世代の担い手育成推進事業」に係る福祉教育アドバイザー派遣（幕別青陵高校）

　加藤司会員派遣

・令和４年度北海道医療・福祉関係職能団体等意見交換会　2023年２月１日　橋本副会長参加

・札幌刑務所における精神障害受刑者処遇・社会復帰モデル事業に係る説明会　2023年２月17日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　佐々木会長・佐賀事務局次長出席

・北海道教育福祉アドバイザー派遣（あいの里高等支援学校）　3月2日　橋本副会長派遣

・北海道アルコール健康障害対策推進会議　佐藤副会長派遣

・北海道自殺対策計画部会　橋本副会長派遣

・北海道自殺対策連絡会議　橋本副会長派遣

・札幌市自殺総合対策連絡会議　佐藤副会長派遣

・北海道北海道ギャンブル等依存症対策推進会議　桒内　崇会員

【その他】

・2022年度北海道医療大学社会福祉実習協力委託施設・機関

**第２号議案　2022年度決算・監査報告**









